

劇団ショーマンシップ

福岡市中央区唐人町商店街の中にある、甘棠館Show劇場を拠点とし、九州を中心にテレビ・ラジオ

など幅広く活動を続け、今年で創立27周年を迎える。

地元の歴史を掘り起こした時代劇「筑前亀門列伝シリーズ」「唐人歌舞伎シリーズ」は、時代劇フ

ァンのみならず、若い世代にも好評。

近年では福岡市無形民俗文化財に指定されている「博多仁和加」を

取り入れた舞台を行っており、幅広い年齢層からの人気を得ている。

その功績が認められ『令和元年度 福岡市民文化活動功労賞』を受賞。

学校の芸術鑑賞行事にも積極的に参加し、現在「ノートルダム物語」

「生きろ！～十五少年漂流記より～」「ないた赤おに」

「砂漠の王子の冒険～水の国のひみつ～」の巡回公演を行っている。



← 『劇団ショーマンシップ』ホームページはコチラより。

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1997年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和3年度 文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

劇団ショーマンシップ

ノートルダム物語



「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

わが国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちの優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

ノートルダム物語

原作：ヴィクトル・ユゴー

脚色/演出：市岡 洋

あらすじ

「カジモド（神のいたずら）」と名付けられたノートルダム大聖堂の鐘撞き男の物語。
容姿が醜いと周りから言われ、大聖堂に閉じこもっていたカジモド。ある日、街の祭りの賑わいに誘われて出掛けたところ、賑わいの中心にいたジプシーの踊り子・エスメラルダを見て、彼女に心惹かれるのだった。
そんななか、将官ジェハンが「街の治安を脅かすジプシーを一掃せよ！」と命じるのだった。
それを聞いたカジモドは、自分がどうするべきなのか悩むのだった。なぜなら彼はジプシーの血を引いていたのだった。



笑い・感動・アクション

ヴィクトル・ユゴー原作「ノートルダム・ド・パリ」をオリジナルのストーリーとして演出。
一味違ったストーリー展開や原作には出てこないキャラクターも登場する、夢と希望溢れる作品！



華やかな歌・踊り・大道芸

エネルギッシュな歌と踊りで華やかに舞台を演出。
ジャグリング・ディアボロなどの大道芸やパントマイムも加わり、まさに総合美術！



登場人物

カジモド

ジェハンに拾われ育てられたノートルダム大聖堂の鐘撞き男。醜い姿を理由に鐘撞き場に引きこもっている。

エスメラルダ

ジプシー一座の踊り子。幼い頃に事故に遭い、傷と秘密を背負って旅をしている。

ジェハン

将官（軍隊のリーダー）。その生い立ちから、ジプシーを強く憎んでいる。

アルセーヌ

パリ生まれのパリ育ち。泥棒として暮らしている。カジモドのたった一人の友達。

ジプシー 一座

住む場所を持たず、旅をしながら暮らしている人々。権力に押しつぶされるこのない人間らしい自由な暮らしを求め、クロピンとともに立ち上がる。

司教

ノートルダム大聖堂の司教。ジェハンの出生の秘密を知っている。

小さな勇気

主人公のカジモドを通じて「小さな勇気を持って、力いっぱい今を生き抜くことの大切さ」に共感！

